

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		学校エコ改修と環境教育事業		担当部局	総合環境政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成16年度開始		担当課室	環境経済課環境教育推進室		環境教育推進室長代行	
会計区分		一般会計、エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)		施策名	8-4 環境教育・環境学習の推進 1-2 国内における温室効果ガスの排出抑制			
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		学校は教育の場であるとともに、地域社会の核でもある。その学校施設のエコ化による二酸化炭素排出量削減と、これを題材として学校や地域での環境教育の普及及び環境建築技術者の育成等を図り、環境負荷の少ない地域づくり、環境保全意識の向上を図ることを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)		環境への負荷が少なくなるように学校のエコ改修を行うこと、学校と地域が連携した環境教育とをセットで実施する事業を補助する。当事業は3カ年で実施することとし、地域社会を巻き込んで検討会を開催し、エコ改修、環境教育について地域で決定するなど環境教育効果が高まるように実施する。また、エコ改修や環境教育が適切に実施されるよう助言や支援を行うとともに、事業の総合的評価・検証を行うためのサポート本部を設置する。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		予算の状況	当初予算	864	357	567	595	0
			補正予算	0	0	0	0	
			繰越し等	71	753	▲408	434	
			計	935	1110	159	1029	0
		執行額	904	798	97			
執行率(%)	97%	72%	61%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
		文部科学省等と連携し、市町村等がエコスクールとして整備する学校をモデル校として認定するエコスクールパイロット・モデル事業の認定校数		成果実績	校	104	157	175
活動指標及び活動実績(アウトプット)		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		学校エコ改修新規採択校数		活動実績(当初見込み)	校	2	3	0
単位当たりコスト		223(百万円/校)		算出根拠	既完成校15校の学校エコ改修及びエコ改修された学校施設を活用した環境教育事業に対して支出した補助金3,339百万円を学校数15校で除したもの			
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費等委託費		25	0	23年度限りで事業終了のため。			
	二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金		570	0				
計		595	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・用途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度で事業終了となるが、事業終了後も、エコ改修した施設を活用した環境教育が継続されるよう要請していく。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	点検結果欄に記載の通り、当該事業については平成23年度限りで廃止。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
所見欄に記載のとおり、平成23年度限りで廃止とする。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

環境省
97百万円

学校エコ改修と環境教育事業の事務等の全体
統括を行う。

【随意契約・請負】

A.(株)エコエナジーラボ
32百万円

学校エコ改修と環境教育事業について、補助事業先である自治体や学校に対して、学校エコ改修及びそれを活用した環境教育が適切に実施されるよう助言、指導を行うとともに、事業の効果やその一般化に向けた方法について検討を行う。

【公募・補助】

B.堺市他3自治体
65百万円

学校エコ改修と環境教育の遂行方法について決定するための検討会を設置し、実際の工事にかかる設計業務などを実施した。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)エコエナジーラボ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	学校エコ改修と環境教育事業サポート本部業務	32			
計		32	計		0
B.堺市			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	環境調査及び設計業務等	20			
計		20	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エコエナジーラボ	補助事業先で実施する学校エコ改修と環境教育事業のサポート及び情報収集、全国会議の開催等	32	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	堺市	環境教育及びエコ改修建築に係る検討会の開催、基本設計、実施設計等にかかる費用の補助	20	-	-
2	横浜市	環境教育及びエコ改修建築に係る検討会の開催、基本設計、実施設計等にかかる費用の補助	14	-	-
3	豊田市	環境教育及びエコ改修建築に係る検討会の開催、基本設計、実施設計等にかかる費用の補助	12	-	-
4	水俣市	環境教育及びエコ改修建築に係る検討会の開催、基本設計、実施設計等にかかる費用の補助	10	-	-
5	京都市	環境教育及びエコ改修建築に係る検討会の開催、基本設計、実施設計等にかかる費用の補助	9	-	-